



第299号

2013年(平成25年)12月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空満町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL 06-6763-5652 FAX 06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 連天 政五郎
大臨技ホームページ URL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

多職種
公開講座

第3回 南支部地域オープンセミナー

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

Theme 「検査トピックス」

今回は臨床検査にまつわる知っているようで知らない最新のネタを用意しました。第1部のISO15189は臨床検査室だけに認証される独特のもので、この認証について知っていただくことで、検査室だけでなく他部署でも品質・能力向上にお役立ていただけたらと思います。

第2部の皮膚再灌流圧測定は、頸動脈エコーや下肢動脈エコーでは分らない、糖尿病足病変の治療予測や下肢潰瘍の発症リスクなどに役立つ検査です。糖尿病療養指導やフットケアに携わるスタッフ・看護師さんには必見です！

第3部のAICS(アミノインデックスがんリスクスクリーニング)は、がんになるリスク予測をすることができます。腫瘍マーカーとどう違うのか?病院のメリットは?などを考えていきたいと思ひます。多くの医療施設の皆様、他職種の皆様、ぜひとも、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

第1部「ISO15189について」

講師: シスメックス株式会社 西日本営業本部
学術情報課 阿部 哲也

第2部「皮膚再灌流圧測定の有用性」

講師: 株式会社ネクシス 開発部 宮原 隆明

第3部「AICSの検査内容について」

講師: 味の素株式会社 イノベーション研究所
菊池 伸矢

講師: 株式会社エスアールエル 大阪中央営業所
矢野 泰司

日時 平成25年12月7日(土)
14:30~17:30(受付14:00~)

会場 阪南中央病院 2階講義室
〒580-0023大阪府松原市南新町3-3-28
TEL 072-333-2100
HP <http://www.hannan-chuo-hsp.or.jp/index.html>
近鉄南大阪線 布忍駅下車 徒歩8分

参加費 500円(一律)

連絡先 阪南中央病院 臨床検査科 喜舎場 智之
TEL: 072-333-2100(内線367)
E-mail: hannankensa@hahoo.co.jp



学術部 病理細胞検査部門からのお知らせ

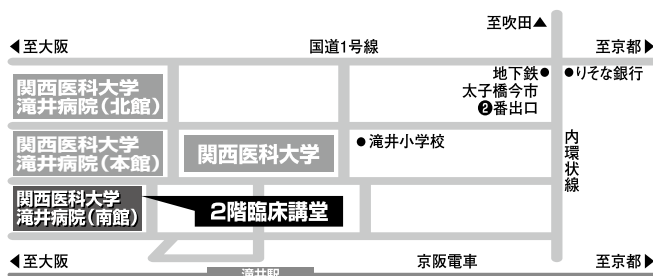
他職種
公開講座

病理組織講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

今回で最後になりますが第3回目を行います。
テーマは「HE 標本を主体とした病理学の習得 ~組織標本の見方、考え方~」で、胃、大腸以外の消化器臓器を対象に行います。
講師に株式会社ピーシーエルジャパン PCL 大阪 小野寺 正征先生をお招きして、HE 標本以外にも肉眼所見や切り出し、特殊染色の見方、診断のプロセスなどをわかりやすく解説していただきます。みなさまぜひご参加ください。

日時 平成25年12月6日(金) 19:00~20:30
講師 PCL大阪 小野寺 正征
会場 関西医科大学附属滝井病院 南館2階 臨床講堂
参加費 各回500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です。)
*近畿支部の地臨技会員証を必ず提示してください。
日臨技の会員証のみでは非会員扱いとなります。
共催 三菱化学メディエンス株式会社
連絡先 星ヶ丘厚生年金病院 検査部 三原 勝利
Email kattu310a@gaia.eonet.ne.jp



第3回目講義

「癌取扱い規約に準じた、消化器臓器病変の組織像と取扱いについて」

取扱い規約に準じた、胃、大腸以外の消化器臓器(食道、小腸、十二指腸、膵臓、肝臓等)の組織の切り出し方や組織像について、症例を用いて解説します。

Theme

あなたに救える命があります！ ～初期救命処置をマスターする～

あなたの横にいた人が突然倒れたとき、あなたは声をかけることができますか？
心臓マッサージ(胸骨圧迫)ができますか？AED(電気ショック)が使えますか？
それがあなたの大切な人ならどうしますか？

私たちにも救える命があることを、それは決して難しくないことを知ってください。
そのために必要な知識と技術を、専門家がわかりやすく丁寧にお教えしますので、
ぜひこの機会に初期救命処置をマスターしてください。

なお、今回の公開講座では、備品準備など都合によりメールによる事前申込み制とさせていただきます

日時

平成26年1月25日(土) 15:00～18:00

会場

大阪医科大学 講義・実習棟2階第1講堂(学1講堂)

定員

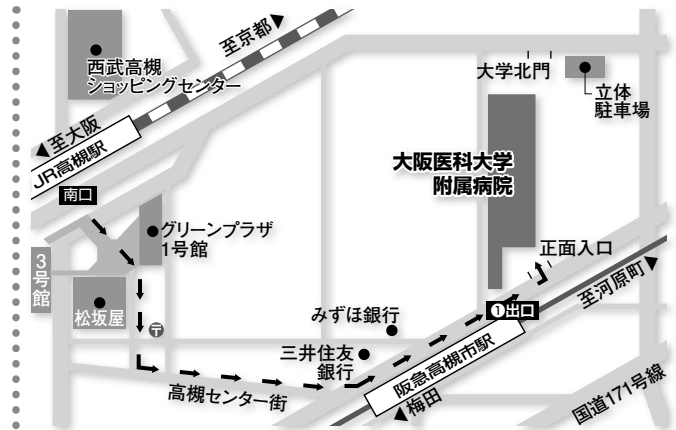
60名(事前申込みによる先着順)

参加費

500円(一律)

連絡先

北支部長 竹下 仁 (大阪府三島救命救急センター)
E-mail takesita302@osaka-mishima.jp
TEL 072-683-9921 (検査科直通)



大阪医科大学
案内マップ

内容

1. 一歩、踏み出してみませんか？ ～私でも使えたAED～

講師：りんくう総合医療センター中央検査科
久保田 芽里

久保田技師は昨年5月に、目の前で突然倒れた人の救命処置の経験をされました。大臨技ニュースや新聞でも報道されましたので、ご存知の方も多いことでしょう。その時、何を思い、どう行動したのか、その貴重な体験談を聞かせていただけます。

2. あなたにもできる！救命処置と普及

講師：国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院
臨床検査科 藪 圭介

藪技師は、たくさんの小学校をまわり、子供達に命の大切さと初期救命処置法の普及活動を続けています。その豊富な経験からわれわれにもできることを紹介していただきます。

3. 心肺蘇生とPUSHプロジェクト

講師：大阪医科大学 生態管理再建医学講座
救急医学教室 准教授
NPO法人 大阪ライフサポート協会理事長
西本 泰久

西本先生は、我が国における心肺蘇生法の普及・啓発活動の草分け的存在であり、現在も第一線で普及活動にご活躍されている先生です。実習に先立ち、心肺蘇生とPUSHプロジェクトについて講義していただけます。

4. PUSH講習

西本先生をはじめ5人のインストラクターによる実習では、簡易型的心肺蘇生トレーニングキットを用いて指導いただき、胸骨圧迫とAEDの使い方をもれなく全員に体験していただけます。

申込み
期

2013年12月1日(日)～12月31日(火)

申込み
方法

メール
(原則本人からのメールで1名分申込みください。やむを得ない場合は本人を含め2名分も可能とします。申込み後は返信メールにて参加可能かをお知らせしますのでご確認ください。)
件名欄に、AEDと記入ください。
本文欄に参加者氏名、施設・部署名、連絡先電話番号、E-mailアドレスを記入ください。
(携帯 mail での申込み不可。PC-mail,G-mail,Yahoo-mail は可。)

申込み先

tomohigashioamt@gmail.com

學術部 血液検査部門からのお知らせ

他職種
公開講座

血液特別講演会

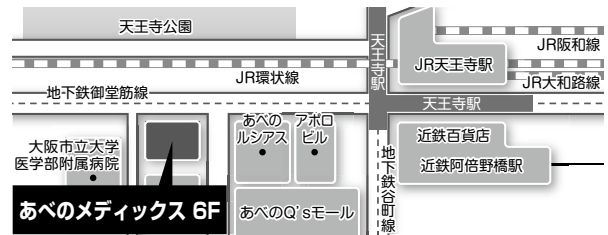
評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

骨髄異形成症候群（MDS）は、前白血病性格をあわせ持つ予後不良の骨髄疾患であり、血球形態異常（異形成像）で特徴づけられます。今回、その病型診断と予後因子の説明、異形成像の種類と判断のコツを症例を交えながら講演することにより、ベテランの方にはMDSの知識整理を、また標本を見始めた方から中堅技師の方々にはMDSに対する苦手意識を克服してもらおうと思います。皆さんふるってご参加ください！！

講演 「自動血球計数CRP測定装置のご紹介」 講師 株式会社 堀場製作所 医用営業統括室 齊藤 憲祐

特別講演 MDS -その病態と異形成の見方・とらえ方- 講師 滋賀県立成人病センター 臨床検査部 梅村 茂人

日時 平成25年12月14日(土) 14:30~17:00
会場 あべのメディックス 6階ホール
参加費 会員500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です。)
共催 株式会社 堀場製作所
連絡先 星ヶ丘厚生年金病院 稲田 孝
TEL: 072-840-2641(内線293)



情報組織部 チーム医療部門からのお知らせ

多職種
公開講座

第24回 糖尿病療養指導士講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme これでは怖くない 症例検討会

内容 参加してみよう症例検討会 (参加型糖尿病講演会) 事前申込み制

講師 大阪府立急性期・総合医療センター 糖尿病代謝内科 主任部長 馬屋原 豊

申込み方法 勤務先、職種、氏名(フリガナ付き)、CDEJの有無を書いて下記まで送信してください。

申込み先 糖尿病療養指導士講演会 事務局 アークレイ マーケティング株式会社大阪SSO内 高橋 直也 宛 FAX:06-6312-3813 ※FAXの返信がない場合は参加可とご判断ください。

日時 平成26年2月23日(日) 13:20~17:00 (12:45~受付)

会場 大阪大学中之島センター 10階ホール

参加費 500円(一律)

共催 アークレイマーケティング株式会社

連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子 E-mail ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp

申込み期間 平成26年1月10日(金)~2月10日(月) 個人情報は会の運用のみに使用し、終了後すみやかに破棄します。

本研修会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として、<第2群>糖尿病療養指導研修 1単位(申請中)あるいは、<第1群>自己の医療職研修単位-臨床検査技師-1単位 どちらか一方で認定申請可能です。

多職種
公開講座

平成25年度 第2回 NST・褥創講演会

予告

日時 平成26年1月25日(土) 14:30~16:30
会場 多根総合病院 4階講堂
参加費 500円(一律)
定員 50名
連絡先 多根総合病院 中央検査部 堀 仁 E-mail: chuken@tane.or.jp

- 内容
- 疾患別検査値の見方と栄養アセスメントの活かし方 肝硬変について 講師: 宝塚市立病院 中筋 幸司
 - 褥瘡の発生機序と栄養管理(仮称) 講師: 味の素ニュートリション株式会社 関西ブロック 腹巻 ちか
 - 褥瘡エコーについて(仮称) 講師: 未定

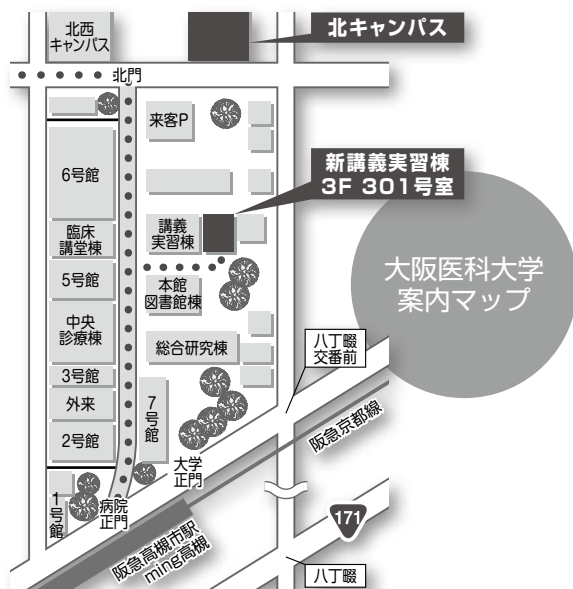


第11回 大阪臨床検査ISO15189研究会

平成25年9月時点で国内でのISO15189認定施設は70施設以上となり、現在も公的病院を中心に認定施設が増加しています。今回の研究会では、第一部でISO15189についてメーカー側からの提案、そして最近認定を取得されましたご施設に取得経験談をご講演いただきます。第二部は、標準規格最新動向として、ISO15189の最新動向と医療情報システムに係わる厚生労働省標準規格についてご講演を予定しております。

ISO15189の認定取得を検討中の施設の方ももちろん、ISO15189に関心のある方はぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。また、今回も意見交換会を設けていますので、ふるってご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、講演内容・講師については現在調整のため変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



日時 平成25年12月7日(土) 14:00~19:00 (13:30開場)
会場 大阪医科大学 新講義実習棟3階 301号室
参加費 500円 (事前登録の必要はありません)
定員 100名(先着順)
連絡先 世話人代表 大阪医科大学 購買・物流部 井口 健
Email kenmie@ruby.famille.ne.jp

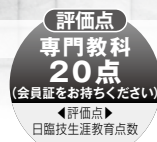


医療情報技師更新ポイント 1点

プログラム

- 第一部 ISO15189へのメーカーからの提案と最新取得経験談**
- 「QMS構築支援の実際」
講師：ロシュダイアグノステック株式会社 (調整中)
 - 「ISO15189取得経験談 FLS in Osakaを活用した認定取得への取り組み」
講師：関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部 鈴木 玲子
- 第二部 標準規格最新動向**
- 「ISO15189最新動向(仮題)」
講師：公益財団法人 日本適合性認定協会 下田 勝二
 - 「医療情報システムにおける厚生労働省標準規格(仮題)」
講師：厚生労働省政策統括官付情報政策担当参事官室室長補佐
北海道大学大学院保健科学研究所客員准教授 中安 一幸
- 第三部 意見交換会 17:00~19:00**
大阪医科大学地下食堂

学術講演会



Theme 「輸血領域におけるde novo肝炎 - 肝臓からのメッセージを見逃すな! -」
講師 アボットジャパン株式会社 学術情報室 土田 貴彦

高感度の検査方法の導入に伴って輸血後に感染症に罹患する人は激減しましたが、それでもなおB型肝炎ウイルス感染は抑えられず年に数例は発生しているのが現状です。今回の学術講演会ではB型肝炎を取り上げ、最近の知見をお話していただく予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成26年1月11日(土) 14:30~16:00
会場 大阪医科大学北キャンパス 看護学部看護学科 講堂
参加費 会員500円 非会員1,000円
連絡先 大阪府済生会中津病院 検査技術科 深田 恵利奈
E-mail yuketu-osaka@mail.goo.ne.jp

免疫血清検査部門 研修会

評価点
**専門教科
 20点**
(会員証をお持ちください)
 ◀評価点▶
日臨技生涯教育点数

- ☆「抗原抗体反応の基礎」を今一度整理してみませんか？
- ☆日常業務の中で、「非特異反応」や「異常反応」に悩まされることはないですか？
- ☆輸血検査～凝集ってどうして起こるの？「特異凝集」と「非特異凝集」の違いは何？
- ☆生化学検査室でも、最近「抗原抗体反応」を利用した測定系が増えてませんか？
- ☆尿一般・血液検査を理解するためにも「免疫学」の知識は必要だと思いませんか？

そんな皆さんに、とっておきの研修会を企画しました。「臨床検査」の理解を深めるために、「免疫学」を再度勉強してみませんか？後半には、教育講演として「環境因子に遺伝子が操られている。」という基礎医学の最新の話題を、また特別講演として最終的に膠原病内科の先生方は私たちの出した検査結果をどのように利用しているのかを分かりやすくかつ大胆にご解説いただく予定です。

年の瀬が押し迫り、町は慌しさを増していますが、「免疫学」の神秘の世界へしばし身を委ねてみませんか？お申込みをお待ちしております。

日時

平成25年12月7日(土) 9:30～17:30

会場

大阪医科大学 新講義実習棟P101講堂(PA会館 1階)

参加費

会員2,000円、非会員4,000円

定員

100名(先着順)

連絡先

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 上田 一仁

E-mail k.ueda@ashiya-hosp.com



申込み

▶事前申込み制

本連絡先(k.ueda@ashiya-hosp.com)まで、件名を「免疫研修会」とし、本文に「ご所属・ご氏名」を明記のうえ、メール送信してください。

「免疫学の逆襲～臨床検査の理解を深めるために」

【基礎講演1】

- 9:30～10:30 序章～異常反応を解き明かすキーとなる免疫
 講師：大阪医科大学附属病院 繁 正志
- 10:30～11:10 免疫学視点で眺める腎臓の未知なる世界
 講師：アークレイ株式会社 木全 明子
- 11:20～12:20 免疫学で覗き見る赤血球膜抗原の神秘
 講師：兵庫県赤十字血液センター 坊池 義浩

【ランチョンセミナー(お弁当付き)】

- 12:30～13:15 感染症検査の変遷と未来
 講師：富士レビオ株式会社 江川 孝則

【基礎講演2】

- 13:30～14:10 免疫検査を担う為に知っておきたい血液検査学
 講師：ベックマンコールター株式会社 横井 浩
- 14:10～15:10 免疫検査を行うための臨床化学検査の基礎理論
 講師：松下記念病院 中島 康仁

【教育講演】

- 15:20～16:20 エピジェネティクスとは
 ～その基礎と免疫疾患との関わり～
 講師：大阪大谷大学薬学部 竹橋 正則

【特別講演】

- 16:30～17:30 免疫学で解き明かす～膠原病内科の戦略
 講師：大阪医科大学附属病院膠原病内科 武内 徹

他職種
 公開講座

免疫血清検査部門 定期講演会5

予告

評価点
**専門教科
 20点**
(会員証をお持ちください)
 ◀評価点▶
日臨技生涯教育点数

日時 平成26年1月22日(水) 18:30～20:00

会場 大阪中央公会堂B1展示室

参加費 会員500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です。)

定員 50名

連絡先 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 上田 一仁

E-mail: k.ueda@ashiya-hosp.com

18:30～19:00 アレルギー～四方山話～花粉の謎に迫る
 講師：市立芦屋病院 臨床検査科 未定

19:00～20:00 気になる花粉症：その発症機序は？
 講師：ファディア株式会社
 クリニカルセールス&マーケティング
 本部学術部 中山 哲

Theme 「年齢をとったら気になる
脳血管の病気と検査」

教育講演

1. 「物忘れ」の原因を顕る検査
ー 機能画像で認知症の早期発見 ー
講師：市立岸和田市民病院 中央放射線部 澁谷 孝行
2. 血管も年をとります、お肌と同じように血管もケアを
講師：市立岸和田市民病院 中央検査部 六尾 哲

特別講演

脳血管性認知症 ー 鑑別から予防に向けて ー
講師：ベルランド総合病院 神経内科部長 西谷 信之

日時 平成26年1月18日(土) 14:00~16:45

会場 大阪府医師協同組合本部 8階

参加費 無料

大臨技後援事業のお知らせ
生物試料分析科学会 近畿支部総会

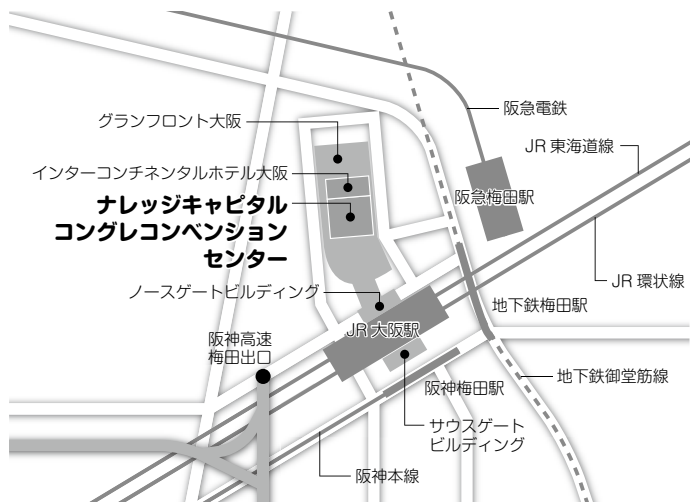
日時 平成25年12月14日(土) 14:00~18:10
(受付13:00~)

会場 ナレッジキャピタルコングレ
コンベンションセンタールーム7
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪内
TEL:06-6292-6911 FAX:06-6292-6921

総会長 神戸腋済会病院 技師長 安原 正善(近畿支部支部長)

参加費 1,000円

連絡先 生物試料分析科学会近畿支部事務局 増田 詩織
E-mail: shiori.masuda@sayama.med.kindai.ac.jp
近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部
TEL.072-366-0221



14:00~15:00	シリーズ基礎講座「分析法の基礎からわかること」30分×2 「酵素的測定法の基礎からわかる分析性能」 「自動血液分析装置のスキットグラムからわかること」	藤田保健衛生大学附属病院 藤田 孝 市立岸和田市民病院 杉山 昌晃
15:00~16:00	特別講演 60分×1 「カイコ産業の復興と医療ー臨床検査技術への応用」	株式会社ジェネティックラボ 取締役 木下 憲明
16:00~16:45	企業講演 15分×3 「血液凝固検査におけるCOAGTRONの有効性」 「マイコプラズマ核酸検出における新規簡易抽出法のご紹介」 「ミュータスワコーによる心筋マーカー測定法のご紹介」	協和メデックス株式会社 森 秀治 栄研化学株式会社 酒井 栄一 和光純薬工業株式会社 未定
16:45~18:05	「苦手な検査データの判読のアドバイス」20分×4 「血液ガス検査」 「凝固線溶検査」 「内分泌検査」 「血液培養ー採取のタイミングにおける臨床検査値の有用性」	りんくう総合医療センター 福田 篤久 近畿大学医学部附属病院 増田 詩織 大阪医科大学附属病院 佐伯 康匠 川崎医科大学附属病院 河口 豊
18:10	閉会	

学術部 一般検査部門からのお知らせ

開催予告

平成25年1月26日(日) 大臨技一般検査フォーラム

平成25年2月23日(日) 日臨技近畿支部一般検査研修会

詳細は1月号に掲載いたします。

第30回 吹田市「みんなの健康展」ボランティア開催報告

平成25年9月7日（土）13:30～17:00、9月8日（日）9:30～16:30
吹田市文化会館（メイシアター）にて実施



吹田市「みんなの健康展」の節目となる第30回が開催されました。大阪府臨床検査技師会から、検査体験コーナーのボランティアとして9月7日は18名、9月8日は19名の技師が参加し、市民への検査体験を実施しました。両日あわせて肺年齢（呼吸機能）409名、骨年齢（骨密度）430名、血管年齢（指尖容積脈波）424名の検査を行いました。

今年は肺年齢検査が復活したため、消耗品の準備に苦勞し、当日のボランティアの皆さんにも大変頑張ってくださいました。初日の朝は、私達の検査体験コーナーの前に整理券を求めて大行列ができる盛況ぶりでした。今年もボランティア全員の協力のおかげで大きなトラブルもなく無事運営でき、多くの市民の方々に喜んでいただけたと思います。

また終了後は、長年に渡り健康展を運営されていた城尾大臨技元副会長も参加していただき懇親会を開催できたため、参加者同士の親睦を深める有意義な一日となりました。

最後に、今回の健康展で多くの準備・ボランティアに協力いただいた吹田市民病院の皆様、ボランティアや機器の手配にご尽力いただいた国立循環器病研究センターの皆様、ボランティアに参加いただいた済生会吹田病院、大阪市内総合医療センター、大阪医科大学附属病院、白鷺病院、協和会病院、MIクリニック、大阪大学歯学附属病院、大阪大学医学部附属病院、おがわクリニック、茨木済生会病院、上山病院、ねや川サナトリウム、白井内科クリニック、アナリティクイエナ・ジャパンの皆様、ならびに機器・機材の提供にご協力いただいた日本光電工業株式会社様、チェスト株式会社様、フクダ電子株式会社様に深謝いたします

吹田市「みんなの健康展」大臨技北支部担当 吹田市民病院 松本 典久、大阪医大病院 東山 智宣

9月7日（土）吹田市メイシアターで行われた健康展の検査ボランティアとして済生会吹田病院・臨床検査科から4名参加させていただきました。私達は、指尖容積脈波による血管年齢測定を担当しました。自施設では主に検体検査に携わっており、患者さんとは接する機会が少なく不慣れなこともあり、緊張した面持ちで行っていましたが、人数を重ねていく内、次第に緊張感もほぐれ、検査手順も被検者の方々への説明もスムーズに行えるようになりました。測定後の血管年齢が実年齢より高く出た場合や低く出た場合など、それぞれ個人のリアクシ



ョンに差があったことが印象的でした。

本健康展には検査技師だけでなく、医師・歯科医師・看護師・薬剤師・栄養士など多職種のボランティアが参加し、幅広く医療に関して催され、

私達も休憩時間に他のブースを回り、歯の磨き方・禁煙の大切さ・塩分摂取などについてのアドバイスを受け、改めて健康について考えさせられる良い機会となりました。

なお、臨床検査技師会からは各医療機関より約20名の参加者があり、経験年数や年齢も様々でしたが、健康展終了後の交流会にて会話を重ねていくうちに、他施設の現状やお互い日頃の悩みなどを語り合いながら、コミュニケーションを図れたことで、大変有意義な時間を過ごせました。

来年も健康展に参加し、少しでも吹田市民の健康管理の手助けとなれば幸いです。また他施設との交流は検査知識向上だけでなくとどまらず、日常業務における問題点解決の糸口にも繋がるものと思われま。ありがとうございました。

大阪府済生会吹田病院 磯田 智史、井上 直人

9月7日、8日で大規模に行われた吹田健康展に参加させていただきました。この吹田健康展における検査技師会の検査体験コーナー（今年は骨年齢、肺年齢、血管年齢の3つの検査）は非常に人気が高く、今回も前日6日には健康展本部に市民か

らの問い合わせが数件あったようで、市民の方々の関心の高さがうかがえました。また、健康展当日も検査開始の20分前には整理券（混雑を避けるため整理券対応をしています）をもらうために、検査技師会受付では長蛇の列になっていました。今年も検査技師会の隣では、医師会の体力測定や薬剤師会のBMI測定、栄養士の栄養について、といった体験コーナーをしていました。お年寄りから子供まで、幅広い年齢層の方々が楽しんでいただいているように思います。

健康展が終わってからの懇親会では、ある印象的な話を聞きました。

「吹田健康展のはじめの頃は検査技師会は参加していませんでした。当時、薬剤師や放射線技師に比べると、臨床検査技師というのは世間の認知度が低かった。だから、

骨密度やエコー、呼吸機能の検査などを行っているのは臨床検査技師だということの宣伝の一つとして、吹田健康展に参加させてもらった。」と。

今年で30回目の吹田健康展。僕自身は今回で4回目の参加になりますが、検査に対する市民の意識は高いように思います。しかしながら、自分の身の回りでは臨床検査技師という職種の認知度は自分が思っている以上に低いように感じます。ただ「認知度を上げるために」というわけではありませんが、健康展のような活動を含め検査の研修会や講習会に参加させてもらって頑張っている検査技師さんの姿を見ると、臨床検査技師という名前がもっと広まっていってほしいのになぁと感じます。

吹田市民病院 厚東 良輔

生理検査に関心が強く、検査を受ける人への声かけ・対応などの経験をつむことができればと思い、軽い気持ちで参加させていたたきました。想像していたよりも来場者は多く、市民の方々の健康への意識の高さを感じられました。初めは不安が大きかったものの、周りの方が不慣れな私にも丁寧にサポー

トして下さり、1日楽しみながらボランティアを終えることができました。ありがとうございました。

大阪市立総合医療センター 妹背 由美

今回、健康展のボランティアに初めて参加させていただきました。私は肺機能検査を担当し、多くの市民の方々と接することができました。臨床検査について関心をもっておられる方が多いことがわかった一方で、COPDについて知らない方も多く、検査技師としてもっと広報活動にも力をいれなければと感じさせられる一日となりました。また、他病院の方々と交流する良い機会になりました。ありがとうございました。

済生会茨木病院 渡邊 祐子

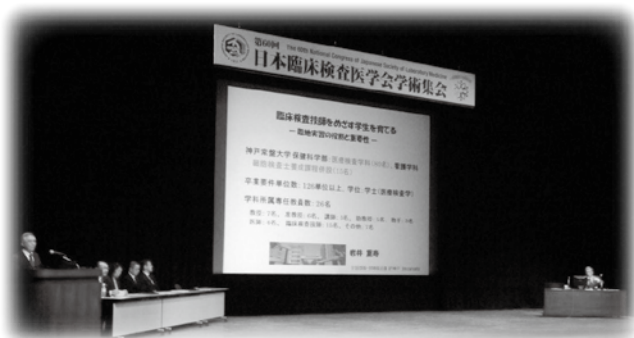


Voice

臨床検査技師教育機関からの声

大阪行岡医療専門学校長柄校 小市 加陽子

はじめまして！



はじめまして！大阪行岡医療専門学校長柄校です。と言いますか、前・近畿医療技術専門学校です。今年の9月から校名変更となり、以前よりご存知の方は、また元に戻った感があると思われるでしょうが、教員一同新たな気持ちでさらなる飛躍に努めたいと思っております。この場をお借りして報告させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、10月30日に、神戸国際会議場にて全国部長・技師長会議が開かれ、臨地実習についての内容という事で参画させていただきました。機会がありました。

初めに三村・前日本臨床検査学教育協議会会長より、「臨地実習における役割と重要性」を解説いただき、より良い臨地実習を行っていくために現在抱える問題点などを提起いただきました。学校側と施設側それぞれに、実習期間や項目の統一性、検査技術教育水準の設定、実習前試験の導入などが挙げられました。看護学生の病院実習では、教育水準が設定されており、水準2（教員などの指導・監視のもとで実施できるもの）では、採血の実施や腰椎穿刺、12誘導心電図などが患者さんに対して実施できます。教育過程における臨地実習は、究極のインターンシップであり実習最後の集大成です。各施設の先生方には、実習内容だけでなく、技師としての倫理感、社会人としてのマナー、今後の国家試験の経験的アドバイスなど本当にいろいろなことを学ばせていただきます。

実習を終了し戻ってくる学生は一回り大きく成長したように見え、学生達も医療人としての自覚が芽生え認識できたと申し出ております。今後とも先生方のご意見・ご指導をいただき連携を取りながら臨地実習をより充実した有意義なものにしていく tara と思っております。

大臨技理事会報告 Executive board report

平成25年度 第7回(10月14日開催)決定事項

- 1. 「大阪府臨床検査技師会 公益社団法人設立記念祝賀会」について**
平成25年12月8日午後1時から3時 新大阪ワシントンホテルで開催予定
来賓招待はなく内祝とし、費用は会費制で参加者は約200名を想定している。
- 2. 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成について**
日臨技主催・日本臨床検査医学会共催で検査説明・相談ができる臨床検査技師育成をする企画担当者向けの講習会を12月16日から3日間開催する。各都道府県技師会から1名推薦、受講者は3年間で検査説明が出来る検査技師を育成する講習会を開催し、普及に努める。人選は地区事業部に一任された。
- 3. 医療安全管理者研修会について**
日本臨床検査技師会では、病院に設置が義務付けられている安全管理者になる臨床検査技師を育成する事を目的にした研修会を11月10日東京で開催する。
(詳細は日臨技HP参照)
- 4. 事務局からの報告**
 - 1) 事務所のコピー機を新機種に変えた。
 - 2) 公益社団法人移行のお知らせを関連団体に送付した。
 - 3) 公益社団法人に移行した事を受けて、各世話人に委嘱状を送付する。
 - 4) 在庫がなくなるまで一部の書類については従来のものを使用する。
- 5. 精度保証の認定登録について**
認定登録の受付を大臨技では11月21日から12月6日に予定している。



大臨技事務局より

重要 平成26年度 大臨技会費納入のお願い

平成25年度から納入方法が変更されました。

1 日臨技および大臨技に入会されている方

日臨技年会費10,000円と大臨技年会費5,000円を合算した15,000円が、日臨技に登録の振替口座から引き落としされます。

これに伴い、

- 1) 予め振替口座の残高確認をお願いします。
- 2) 日臨技へ会費振替口座の登録をされていない方は、日臨技を通じて「会費振替口座の登録」をしてください。
- 3) 平成25年度で退会を希望される方は、平成26年1月31日(金)までに、下記の処理を行ってください。
退会申請をされない場合、平成26年度会費が口座から引き落とし(平成26年2月27日予定)されます。
必ず期日までに退会の手続きを行ってください。

① 日臨技および大臨技を退会される方

- ▶ 日臨技退会の手続きを、日臨技ホームページから行ってください。
- ▶ 大臨技退会の手続きを、次のように行ってください。
大臨技ホームページから「大臨技退会届」をダウンロードして必要事項を記入後、大臨技事務局に提出してください。

② 日臨技のみ退会される方

- ▶ 日臨技退会の手続きを、日臨技ホームページから行ってください。
- ▶ 大臨技会費は、次の「大臨技のみに入会されている方」に準じて納入してください。

③ 大臨技のみ退会される方

- ▶ 大臨技退会の手続きを、次のように行ってください。
大臨技ホームページから「大臨技退会届」をダウンロードして必要事項を記入後、大臨技事務局に提出してください。

2 大臨技のみに入会されている方

郵便局に備え付けの「払込取扱票」(白地に青枠の用紙)に、下記のとおり必要事項を記入し、大臨技年会費5,000円を振り込んでください。振込手数料は各自ご負担ください。

- ・ 口座番号 00950-1-1021 (正確に記入してください。)
- ・ 加入者名 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
- ・ 通信欄 「平成26年度大臨技年会費」と記入すると共に、大臨技会員番号、施設番号(わかれば)、および施設名も記入してください。

また、「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」(大臨技のみの会員専用)に加入される方は、7,950円(大臨技年会費5,000円+保険料2,950円)を振り込むと共に「大臨技臨床検査技師賠償責任保険 加入依頼書」(大臨技ホームページよりダウンロード)を提出してください(加入依頼書の提出は年毎に必要です)。

「払込取扱票」の通信欄には「平成26年度大臨技会費+保険料」と記入してください。

※上記「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」の保険料は、入会時期により異なります。詳細は、大臨技ホームページの「大臨技臨床検査技師賠償責任保険について」をご覧ください。

3 日臨技のみに入会されている方

従来どおり、日臨技に登録の振替口座から引き落としされます。

大臨技事務局からのお知らせ

平成26年度会費納入案内は9ページにあります。

■ 大臨技会員証について

第3回目会員証は10月中旬に発行・発送いたしました。これ以降は会員証の発行は行いませんので、ご了承ください。
会員証の代わりとして、「**会員登録証明ハガキ**」を発行いたしますので、こちらを会員証としてご使用願います。
ハガキが届くまでは、お振込みされた時の受領証、もしくは日臨技ホームページより発行した領収証で代用願います。

■ 大臨技会員証の再発行について

紛失等により会員証の再発行を希望される場合は、大臨技ホームページより「**大臨技会員証再発行申請書**」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、当会事務所まで郵送又はFAXにてご提出ください。
それと共に、再発行費 500円をご納入ください。その2点を確認いたしましたら、お手続きいたします。
10月以降に関しては、「**会員登録証明ハガキ**」で対応させていただきます。

■ 臨床検査技師免許申請中の新入会員の方へ

臨床検査技師免許を取得されましたら、大臨技ホームページより「**臨床検査技師免許証番号 届出書**」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、当会事務所までご提出ください。
現在は仮登録の状態ですので、免許証番号をご連絡いただきましたら、正会員として正式登録いたします。
届出がない場合は、翌年3月末日で除籍扱いとなります。

■ 施設・技師会・住所等の変更について

施設の異動・転入・転出による技師会の変更、転居による住所変更など、登録データに変更が生じた際は、速やかに当会事務所までご連絡ください。
特に自宅会員については、転居の届出が無いと大臨技ニュース・会誌等をお届けできなくなりますのでご注意ください。
大臨技ホームページより「**会員異動届**」「**施設登録用紙**」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、当会事務所までご提出ください。

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務所までご連絡ください。

Personal
Use

あなたの「いつも」を快適に。

シンプルな操作で血糖測定を実現 経済性にも配慮しました

自己検査用グルコース測定器

トゥルーピコ

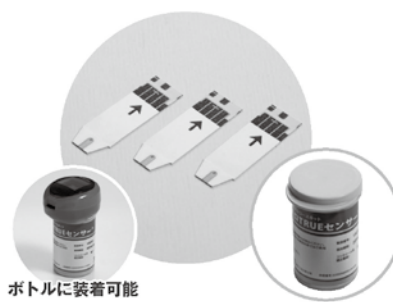
ニプロTRUEepico®



自己検査用グルコースキット

トゥルー

ニプロTRUEセンサー®



特長

- 必要血液量: 0.5µL、測定時間: 約4秒
- 測定範囲: 20~600mg/dL
- 小型・軽量 (17g)
- 初期設定不要 (時刻合わせや環境設定がありません)

■ニプロTRUEepico® 医療機器承認番号: 22500BZX00118000 高度管理医療機器(クラスⅢ)、特定保守管理医療機器
■ニプロTRUEセンサー® 医薬品承認番号: 22500AMX00894000

単回使用自動ランセット

ニプロLSランセット



■医療機器認証番号: 224AA8ZX00195000
管理医療機器(クラスⅡ)

○使用上の注意等につきましては、添付文書をご参照ください。



NIPRO

製造販売

ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

製品に関する
お問い合わせ先

やさしい ニプロ
☎0120-834-226

9:00~17:30(土・日・祝祭日を除く)

※電話番号をよくお確かめの上、お掛けいただきますようお願い致します。

2013年8月作成

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成26年1月号の原稿メ切は**11月30日(土)**、平成26年2月号は**1月4日(土)**です。